

イントロダクション：イエスは祈り続ける必要性について2つのことを教えられました。先週はルカ18章から不正な裁判官とやもめの話を見ました。この女は不正な裁判官に対してしつこく求め続けていました。裁判官は神を恐れず人を人とも思っていないのですが、女があまりにもうるさいので言うことを聞いてやったのです。イエスはこのたとえを話されたとき、「不正な裁判官の言っていることを聞きなさい」と言われました。私たちもこのたとえからメッセージを聞くべきです。その内容については後で触れます。

まず私が最初に重点を置きたいのは祈りそのものについてです。私たちが主の前にひざまずき祈ると何が起こるのか、というところに誤解があるようです。祈れば願いがかなえられる、という考えは、信仰をもって祈る習慣を促すために説教として講壇から語られることもあります。よく言われるのは、どんなことでも祈れば神様は与えてくださいます、あなたが神の子ならそれを受ける権利があるのです、というような内容です。しかし祈りによって良い物ばかりが詰まった福袋をもらえるわけではない、祈れば何でももらえるわけではない、と示す聖句もたくさんあります。たしかにイエスは欲しいものを求めれば与えられる、とおっしゃいました。また信仰によって願うものは受けられる、ともおっしゃいました。しかしイエスが話されていた対象は、誰でもかまわず、祈る人すべてだったのでしょうか？それとも特定のグループの人たちだったのでしょうか？それはイエスに心から従う人たち、神の声を聞くだけでなく実行する特定の人たちでした。彼らは肉でなく御霊によって歩みました。彼らは枝につながりキリストの中にとどまり、キリストの言葉が彼らの中にとどまっていた。言い換えれば彼らは御霊に満たされていました。

私たちはこの世的な生き方から霊的な生き方へと変えていかねばなりません。そのためには内なる人が御霊に満たされなければなりません。それはただ手あたりしだい適当なことを祈るということではありません。まずスターティングポイントとして神のみことばに基づいた祈りをしなければなりません。

1. イエスは弟子たちに祈りの概要を与えられる

ルカ11章で弟子たちはイエスにどのように祈ったら良いのか教えてくださいと言いました。その後続いたのがマタイにある主の祈りに似た祈りです。それだけを見ると結局祈りの講義はこれだけなのか、と思われるかもしれませんが、ところが次にイエスは求めなさい、捜しなさい、たたきなさい、と言われ、旅人のためにパンをもらいに行く人の話をされます。ルカが記した祈りのアウトラインは、父なる神は聖なるお方で、御国を治められ、私たちは日ごとの糧を願い求めるべきで、赦しは良いクリスチャンになるための必須条件で、試みに会わないようにする。これは祈りの概要で、こればかりを繰り返す祈りなさいとか、祈りの部屋に入ったらこれだけを祈りなさい、と言われたわけではありません。

2. イエスのたとえ話

このたとえには3人の人が出てきます。わかりやすくするために名前を付けましょう。ボブ、ラリー、チャールズ。まず出てくるのはボブ。この人は家の主人であり、妻と子供たちと一緒に住んでいます。ラリーはこの主人の友達で、チャールズはラリーの友達です。ラリーの友達、チャールズは旅をしていて食べ物を求めています。ラリーはパンを持っていないので友達のボブの所へもらいに行こうと考えます。ただし時は真夜中でみんな眠っています。しかしラリーはそんなことは気にせず出かけます。ここでボブの発言が興味深いのですが、彼はラリーはしつこい男だから真夜中だろうと家族が眠っていようと求め続けてくるだろう、ということを知っています。ボブとラリーは友達ですが、ここでは友達だからということとは問題ではないのです。ラリーの厚かましい態度がボブを寝床から起き上がらせ3つのパンをあげるという行動を起こさせたのです。

3. イエスは祈り続けるための有名な3つのキーワードを挙げられる

3つのキーワードは、求める、捜す、たたき、です。しばらく教会に来ている人なら誰でも聞いたことがあると思います。ただしこれらの言葉は原語のギリシャ語から英語に訳すと問題があります。英語にはこのギリシャ語に相当する動詞の時制がないのです。あえて説明するとしたら、求めなさい、そして求め続けなさい。捜しなさい、そして捜し続けなさい。たたきなさい、そしてたたき続けなさい。となります。要するに粘り強く続ける、という意味合いです。

4. イエスは私たちに良いものをくださる

イエスは私たちに良いものを与えたいと願っておられる、と言われこの話は終わります。ここで興味深いのは、100万ドルとか何かすごいものを願い求めなさい、とは言われていないことです。イエスは「聖霊」とおっしゃっています。それはなぜでしょう？初めにも述べたように、私たちは霊的なものを求めていかなければなりません。イエスは私たちに良い賜物を与えたいと願っておられますが、それらはあくまでも神の御心になつた「良いもの」なのです。

結論：祈りはすばらしいものです。しかししつこく祈り続けられるようになるのはもっとすばらしいことです。あきらめずに祈り続けましょう。主を見上げ求め続けましょう。イエスは私たちの内なる人に触れてくださり、そうすれば私たちは外に向けてリーチアウトできるようになります。アーメン！